

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0421	愚陀佛庵整備事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	2
0422	ことばのちからイベント事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	3
0422	一草庵公開活用事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	4
0423	県指定史跡庚申庵活用事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	5
0443	文化振興事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	6
0443	ふるさと館管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	7
0443	市民会館管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	8
0443	市民会館改修事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	9
0522	俳句ポスト事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	10
0522	文学賞運営事業	坂の上の雲まちづくり部	文化・ことば課	11

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化拠点	連絡先	948-6952
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	愚陀佛庵整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市愚陀佛庵条例		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】本市の新しい魅力と賑わいを創り出すとともに、未来を担う子ども達が、友情や人とのつながり、出会いの大切さを学び、松山への誇りや愛着を醸成する。 【背景】令和7年は、夏目漱石が松山中学校に赴任し、また愚陀佛庵で正岡子規と52日間の共同生活をしてから130周年、令和8年は、小説「坊っちゃん」発表120周年の節目であることを機に、子規の母校である番町小学校のプール跡地に「愚陀佛庵」を再建する。				
対象・内容	【対象】愚陀佛庵 【内容】令和8年7月24日のオープンを目指し、愚陀佛庵の再建に係る工事を行う。 (令和7年度) 建築主体工事・空調工事・給排水工事・電気工事 (令和8年度) 建築主体工事・空調工事・給排水工事・電気工事・中庭造園工事				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	再建に係る工事請負費	51,700	
予算 (千円)	事業費計	0	142,000	157,572			外観パース作成などの委託料	946	
	国費・県費		0	73,783			その他事務経費	42	
	市債		118,800	58,200					
	その他		15,000	13,337					
	一般財源		8,200	12,252					
決算 (千円)	事業費計	0	52,688			主な取組 内容 【R7】	令和7年秋頃から建築主体工事・空調工事・給排水工事・電気工事を開始した。工事は予定通り進捗している。		
	国費・県費		0						
	市債		18,700						
	その他		8,441						
	一般財源		25,547						
	(執行率)	0%	37%						
人役	正規職員		1.0	1.0		特記事項	工事請負費の一部を繰り越したため。		
	その他		0.0	0.0					
	合計	0.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	工事の進捗率		目標	—	40	100	100	予定通り工事が進捗しているため。	
			実績	—	40				
	累計で増	%	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	工事が順調に進捗しているため。(令和8年7月に供用開始済)							
課題	施設の適正な管理と幅広い周知に努める。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の運営を通じて、松山への誇りや愛着を醸成する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	ことばのちから	連絡先	948-6524
------	-------------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	ことばのちからイベント事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0422					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市文化芸術振興計画		
主な取組	「ことば」をいかしたまちづくり				
目的・背景	【目的】「ことばのちから」をキーワードとした事業を展開し、「ことばを大切にすまち松山」を市内外に発信し、まちの魅力と都市ブランドの向上につなげることを目的としている。 【背景】21世紀という新たな100年のスタートを迎えた2000年(平成12年)に、「21世紀イベント協議会」(現:ことばのちから実行委員会)を立ち上げ、本市ならではの歴史や文化的・文学的な風土を生かし、「ことばのちから」をキーワードとしたまちづくりを展開することとなった。				
対象・内容	【対象】観光客、市内外の方 【内容】ことばのちから実行委員会へ負担金を支出し、“ことば”をまちに掲出する「街はことばのミュージアム」の実施や「響け!!言霊“ことばのがっしょう”群読コンクール」等を実施。 NPO法人俳句甲子園実行委員会へ負担金を支出し、俳句甲子園を共催。 「いい、つばきの日」リモート句会ライブの実施など。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	俳句甲子園開催負担金		21,000
予算 (千円)	事業費計	44,043	34,952	31,781			ことばのちからイベント 2025負担金		5,156
	国費・県費	13,078							
	市債								
	その他	2,250							
	一般財源	28,715	34,952	31,781		いい、つばきの日記念イ ベント オンライン句会ラ イブ業務委託		1,447	
決算 (千円)	事業費計	36,800	33,427			主な 取組 内容 【R7】	・第28回俳句甲子園を共催。 ・「第18回 響け!!言霊“ことばのがっしょう” 群読コンクール」を実施。 ・いい、つばきの日記念イベントとして、夏 井いつき氏によるオンライン句会ライブを 開催。		
	国費・県費	12,660							
	市債								
	その他								
	一般財源	24,140	33,427						
	(執行率)	84%	96%						
人役	正規職員	2.6	2.8	3.3		特記 事項			
	その他	0.1	0.1						
	合計	2.7	2.9	3.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	俳句甲子園未参加県での出張講座実施数		目標	10	10	3	3	参加実績のない福井県の高校と出張講座の調整を進めていたが、実現に至らなかったため。R8年度からは、単年ごとの未参加県での出張講座実施数に指標を修正する。	
			実績	9	9				
	累計で増	都道府県	達成率	90.0%	90.0%				
成果指標	俳句甲子園への参加都道府県数		目標	47	47	47	47	未参加県での講座実施やPR活動が十分に行えなかったため。	
			実績	45	45				
	累計で増	都道府県	達成率	95.7%	95.7%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	参加実績のない福井県での出張講座を開催できなかったが、将来、俳句甲子園出場を目指したい高校や地方大会を開催したい自治体から、R8年度の出張講座開催を希望する問い合わせが寄せられているため。							
課題	少子化の中でも俳句甲子園の参加チーム数が増加するよう、引き続き俳句甲子園実行委員会と連携しながら、参加の呼びかけや出張講座を行っていく必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	出張講座は開催後のアンケートも好評であり、また講座を行った学校は、翌年度に俳句甲子園に出場してくれるケースも多く見受けられるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化拠点	連絡先	948-6952
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	一草庵公開活用事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0422					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市一草庵条例、松山市一草庵条例施行規則		
主な取組	「ことば」をいかしたまちづくり				
目的・背景	【目的】俳人・種田山頭火の句や足跡を後世に伝え、顕彰するため。 【背景】昭和55年に種田山頭火終焉の場所である一草庵(昭和27年再建)が松山市に寄附されて以降、一草庵の日常の維持管理と活用は「文化財保護事業」として行っていたが、平成13年度に「一草庵管理運営事業」として新たに事業化した。 その後、一草庵と種田山頭火に寄せる市民や観光客の関心の高まりを受け、平成20年度に一草庵とその周辺の環境整備を行い、平成21年度から事業名を「一草庵公開活用事業」として、現在に至る。				
対象・内容	【対象】市民、観光客 【内容】一草庵の管理・公開を委託し、種田山頭火の終焉の地に建つ「一草庵」を俳句のまちにふさわしい文化施設として活用する。 ・「NPO法人まつやま山頭火倶楽部」により、土曜日・日曜日・祝日(年末年始を除く)等に庵の内部公開を行う。 ・「一草庵管理協力会」により、休憩所を含めた敷地内の美化及び維持管理を行う。 ・「公益社団法人松山市シルバー人材センター」により、敷地内樹木の維持管理(剪定・消毒)等を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	公開業務委託料		1,177
予算 (千円)	事業費計	1,957	2,143	2,976			庭園管理業務委託料		435
	国費・県費						機械警備業務委託料		197
	市債								
	その他	10	15	19					
	一般財源	1,947	2,128	2,957					
決算 (千円)	事業費計	1,919	2,019			主な 取組 内容 【R7】	・庵の公開 ・敷地内の美化 ・樹木の維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	19	21						
	一般財源	1,900	1,998						
	(執行率)	98%	94%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.7	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
活動指標	庵内部の公開		目標	119	120	122	121	土・日・祝日及び記念日の庵内部の公開を予定どおり行うことができた。
			実績	117	120			
	現状維持	日	達成率	98%	100%			
成果指標	来庵者数		目標	5,000	5,000	5,000	5,000	イベント等を実施したが、来園者数は目標を達成することができなかった。
			実績	3,117	2,951			
	単年で増	人	達成率	62%	59%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	庵内部の公開は予定どおり行うことができ、イベントも実施することができたが、来園者数を増加させることができなかったため。						
課題	・施設の適正な管理及び運営 ・来庵者数を増やす			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、地元の管理協力会や種田山頭火の顕彰団体である山頭火倶楽部と協力し、施設の維持管理や庵の内部公開等を適切に行う。	

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化拠点	連絡先	948-6952
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	県指定史跡庚申庵活用事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
0423					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	愛媛県文化財保護条例、松山市庚申庵史跡庭園条例、松山市庚申庵史跡庭園条例施行規則		
主な取組	文化財の保存・活用				
目的・背景	【目的】市民や観光客が文化財に親しみ、保護意識を醸成するとともに、松山の文化である俳句の伝統を現代に伝えるため 【背景】平成12年度に、味酒町二丁目に残る愛媛県指定史跡庚申庵を保存・保護するため、松山市が公有化し、平成13・14年度に「県指定史跡庚申庵整備事業」として整備工事を行った。 平成15年5月に史跡庭園として開園し、「県指定史跡庚申庵活用事業」として現在に至る。				
対象・内容	【対象】市民、観光客 【内容】愛媛県指定史跡庚申庵を含めた「松山市庚申庵史跡庭園」の管理に指定管理者制度を導入し、「株式会社レスパスコーポレーション」を指定管理者として指定し、施設管理のほか、広く市民等を対象に、春にふじまつりや開園記念イベント、秋に湯豆腐忌といったイベントのほか地域文化講座、三庵めぐりなどの活性化事業を実施する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 〔千円〕 〔R7 決算〕	指定管理料		13,015
予算 〔千円〕	事業費計	14,218	13,407	13,299			ノダフジ樹勢回復等業務委託料		307
	国費・県費								
	市債								
	その他	170	171	201					
	一般財源	14,048	13,236	13,098					
決算 〔千円〕	事業費計	14,196	13,322			主な取組 内容 〔R7〕	・指定管理者による施設の維持管理と活性化事業の実施 ・ノダフジ樹勢回復		
	国費・県費								
	市債								
	その他	167	224						
	一般財源	14,029	13,098						
	（執行率）	100%	99%						
人役	正規職員	0.9	0.3	0.3		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	1.0	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント等の実施回数		目標	7	7	7	7	活性化業務として予定していたイベントを全て実施することができた。	
			実績	8	9				
	現状維持	回	達成率	114%	129%				
成果指標	来園者数		目標	10,000	10,000	10,000	10,000	晴れの日が多かったため、来園者数が増加した。	
			実績	8,132	15,320				
	単年で増	人	達成率	81%	153%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定していた全てのイベントを実施することができ、前年度に比べて晴れの日が多かったことによりサクラやフジが見頃を迎える春のイベント等の来園者数が増加し、目標が達成できたため。							
課題	・庭園のノダフジの樹勢回復 ・植栽の適切な剪定等					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き管理を丁寧に行い、来園者にまちなかの庭園として落ち着いた空間を提供するとともに、文化財としての価値を伝える。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化振興	連絡先	948-6634
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	文化振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0443					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	生涯学習・生涯スポーツ・文化芸術活動の推進	根拠法令	文化芸術基本法、松山市文化芸術振興計画		
主な取組	文化芸術活動の推進				
目的・背景	【目的】 松山市の文化芸術の振興を図り、市民文化の向上及び豊かな地域づくりに寄与することを目的としている。 【背景】 松山市文化芸術振興計画の3つの基本理念「文化芸術で市民の創造性や表現力の向上を目指す」「文化芸術で心豊かで活力ある地域社会の形成を目指す」「文化芸術で市民の誇りと絆を深め、世界や未来へつなぐ」のもと、各種事業を推進し、将来ビジョン「市民全員が“まっやま文化人”」を目指す。				
対象・内容	【対象】 松山市文化協会をはじめ文化関係者・団体、市民 【内容】 ・松山市文化協会等に対して補助金を支出し、市内の文化芸術団体の発展と普及を図る。 ・松山市文化創造支援協議会に対して負担金を支出し、市民の創造性や表現力を向上させ、心豊かで活力ある地域社会の形成を図る。 ・まちなか文化活動補助金を支出し、市民や観光客がまちなかで気軽に文化芸術に触れられる機会を創出する。 ・ファッションや音楽などの若者文化を体感できるイベントを開催し、若い世代のシビックプライドを高める。				

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山市文化協会補助金		17,670
予算 (千円)	事業費計	103,731	45,468	69,934			若者文化賑わい創出イベント開催委託料	17,000	
	国費・県費	3,600	10,000						
	市債								
	その他								
	一般財源	100,131	35,468	69,934		松山市文化創造支援協議会負担金	2,099		
決算 (千円)	事業費計	98,525	41,299			主な取組 内容 【R7】	・松山市文化協会等へ運営補助金を支出し、文化芸術の振興を図った。 ・若者が楽しめる賑わい創出イベントを開催した。 ・松山市文化創造支援協議会でワークショップや人形劇等を実施した。 ・まちなかでの演奏会などの実施を支援した。		
	国費・県費	12,168	9,250						
	市債								
	その他								
	一般財源	86,357	32,049						
	(執行率)	95%	91%						
人役	正規職員	2.8	2.8	4.0		特記事項	令和6年度はTGCを開催したが、令和7年度は開始しなかったため予算・決算額が減額となっている。		
	その他	0.1	0.1	0.0					
	合計	2.9	2.9	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市文化芸術振興計画に基づく事業実施数		目標	－	205	210	215	R7年度から新たに実施した事業があるものの、統合や廃止となったものもあり、事業実施件数は前年度と同じ。	
			実績	201	201				
	単年で増	件	達成率	－	98%				
成果指標	松山市を文化的なまちだと思ふ市民の割合		目標	－	84	85	86	微減したものの、各種事業の実施などにより、高い水準で推移している。 ※R8年度シートから、事業効果をより測れる活動指標、成果指標に変更。	
			実績	83.2	82.1				
	単年で増	%	達成率	－	98%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	わずかに目標値を下回ったが、様々な取組により松山市の文化芸術振興につなげることができたため。							
課題	令和10年3月末に松山市民会館が閉館するため、文化活動が停滞しないよう支援をしていく必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各団体への負担金や補助金、まちなか文化活動補助金を通して市民が文化芸術に触れられる機会の創出を継続して行っていく必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化拠点	連絡先	948-6952
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	ふるさと館管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
0443					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		—	—	
施策	生涯学習、生涯スポーツ・文化芸術活動の推進	根拠法令	松山市北条ふるさと館条例、松山市北条ふるさと館条例施行規則、松山市文化芸術振興計画		
主な取組	文化芸術活動の推進				
目的・背景	【目的】歴史民俗資料・美術品の展示、歴史文化等各種講座を実施して、市民文化の振興を図ることを目的とする。 【背景】河野別府にある「文化の森公園」の中の施設で、平成7年4月に開館。北条地区の歴史を展示する歴史民族資料展示室や、美術展示室、大会議室などを備えている。				
対象・内容	【対象】市民 【内容】施設の管理運営は、民間の能力を活用しつつ住民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とした指定管理者制度により行っており、令和4年度から令和8年度の5年間の予定で、ふるさと北条ファンづくり応援団が管理・運営を行っている。指定管理者による美術展示室や歴史民俗資料展示室での展示、講演会・研修会等が開催できる会議室等の提供及び市民の作品発表の場としての展示室等の貸出をはじめ、歴史文化等が学習できる講座を行っている。また、建築物等施設や機材設備対象・事業内容の耐用年数により予測される不具合に対し、計画的に改修を行う「予防保全」と、予期せぬ故障が起こった場合改修等を行う「事後保全」により施設の維持を行っている。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	【繰越】北条ふるさと館外 壁改修その他工事		55,279
予算 (千円)	事業費計	105,909	105,698	54,524			委託料(指定管理料)		34,960
	国費・県費						北条ふるさと館喫茶室床 改修工事		1,272
	市債	61,100	61,100						
	その他	2,670	11,192	21,091					
	一般財源	42,139	33,406	33,433					
決算 (千円)	事業費計	38,173	91,605			主な 取組 内容 【R7】	・指定管理者による施設の維持管理費、各 種歴史文化等講座や自主事業の実施。 ・突発的な不具合に対応するための修繕工 事の実施。		
	国費・県費								
	市債		49,700						
	その他	3,533	9,212						
	一般財源	34,640	32,693						
	(執行率)	36%	87%						
人役	正規職員	0.3	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.1	0.1					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	305	304	314	314	予定どおり開館することができた。	
			実績	305	304				
	単年で増	日	達成率	100%	100%				
成果指標	北条ふるさと館年間使用料収入		目標	1,980	2,020	2,900	2,900	適切な維持管理により施設を開館できたことで、目標を達成できた。	
			実績	2,868	3,056				
	単年で増	千円	達成率	145%	151%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	利用者が安心して施設を利用できるよう運営管理等を行うことができたため。							
課題	継続して適切に施設を維持管理する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行うことで、市民の円滑な利用につながっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化拠点	連絡先	948-6952
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市民会館管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
0443					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	生涯学習、生涯スポーツ・文化芸術活動の推進	根拠法令	松山市民会館条例、松山市民会館条例施行規則、松山市北条市民会館条例、松山市北条市民会館条例施行規則		
主な取組	文化芸術活動の推進				
目的・背景	【目的】松山及び北条市民会館は、本市の文化拠点であることから、適正な管理運営により、市民が文化芸術を鑑賞する場、練習・発表する場を提供することを目的とする。 【背景】松山市民会館は、堀之内に昭和40年に開館。北条市民会館は、北条市辻に昭和55年に開館。両施設ともに、市民や文化団体の文化芸術活動の発表などの場として利用されている。				
対象・内容	【対象】松山市文化協会をはじめ文化関係者・団体、市民 【内容】松山市民会館については、平成18年度から指定管理者制度を導入しており、第4期指定管理期間(平成31年度～令和5年度)は、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っている。北条市民会館については、受付等は北条支所が、その他の光熱水費、燃料費、音響照明等管理運営については、文化・ことば課が担当し管理運営を行っている。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	市民会館費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	委託料(指定管理料)		210,767
予算 (千円)	事業費計	240,754	250,644	245,008			委託料(北条市民会館空調設備保守点検)		1,100
	国費・県費								
	市債								
	その他	96,543	96,100	103,470					
	一般財源	144,211	154,544	141,538					
決算 (千円)	事業費計	214,081	222,925			主な 取組 内容 【R7】	・松山市民会館は、指定管理者制度により 管理運営を行った。 ・北条市民会館は、北条支所が窓口業務を、 スポーティングシティ推進課がその他の管理 運営を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	95,742	118,818						
	一般財源	118,339	104,107						
	(執行率)	89%	89%						
人役	正規職員	0.9	0.7	0.7		特記 事項			
	その他	0.9	0.8	0.8					
	合計	1.8	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市民会館の開館日数		目標	309	310	312	308	通常開館以外に臨時開館したため、目標よりも開館日数が多くなった。	
			実績	312	315				
	単年で増	日	達成率	101%	102%				
成果指標	松山市民会館年間使用料収入		目標	95,125	95,125	100,000	100,000	適切な維持管理により施設を開館できたことで、目標を達成できた。	
			実績	89,820	112,134				
	単年で増	千円	達成率	95%	118%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	北条市民会館の利用者数は減少したが、松山市民会館の利用者数は増加し、松山市民会館年間使用料収入も目標を達成したため。							
課題	松山市民会館が閉館する令和10年3月まで安全に利用できるよう、適切に施設を維持管理する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	文化拠点	連絡先	948-6952
------	-------------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名 0443	市民会館改修事業	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		—	—	
施策	生涯学習、生涯スポーツ・文化芸術活動の推進	根拠 法令	松山市民会館条例、松山市民会館条例施行規則、松山市北条市民会館条例、松山市北条市民会館条例施行規則		
主な取組	文化芸術活動の推進				
目的・背景	【目的】松山市民会館及び北条市民会館を適切な状態に維持するため 【背景】文化活動の拠点として、松山市民会館は、昭和40年に供用開始。北条市民会館は、昭和55年に供用開始。				
対象・内容	【対象】松山市民会館、北条市民会館 【内容】松山市民会館及び北条市民会館の建物や設備の耐用年数や兆候などあらかじめ予測される不具合に対し、計画的に改修を行う「予防保全」と、突発の故障・不具合について改修を行う「事後保全」により、施設の維持保全を行っている。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	市民会館費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山市民会館第5会議室 エアコン設置工事		704
予算 (千円)	事業費計	24,881	5,300	11,300			北条市民会館トイレ手洗 器排水管修繕工事		469
	国費・県費						北条市民会館冷温水機N O. 3修繕ほか工事		253
	市債								
	その他	20,000							
	一般財源	4,881	5,300	11,300					
決算 (千円)	事業費計	20,180	2,455			主な取組 内容 【R7】	予防保全及び事後保全として、松山市民会 館、北条市民会館の設備改修工事を行う。 ○主な工事 松山市民会館 ・第5会議室エアコン設置工事など		
	国費・県費								
	市債								
	その他	13,800							
	一般財源	6,380	2,455						
	(執行率)	81%	46%						
人役	正規職員	1.0	0.7	0.7		特記 事項	令和6年度に比べて工事の1件あたりの金 額が下がったため。		
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	1.2	0.9	0.9					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市民会館の開館日数		目標	309	310	312	308	通常開館以外に臨時開館したため、目標よりも開館日数が多くなった。	
			実績	312	315				
	単年で増	日	達成率	101%	102%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	通常開館日を予定通り全て開館し、臨時開館も行ったため、目標を達成することができ、市民が安心して施設を利用することができた。							
課題	松山市民会館が閉館する令和10年3月まで安全に利用できるよう、適切に施設を維持管理する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	ことばのちから	連絡先	948-6524
------	-------------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0522					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市文化芸術振興計画		
主な取組	「ことば」文化の発信				
目的・背景	【目的】「俳都松山」の俳句文化に触れてもらい、松山市への満足度の向上や俳句文化の普及に寄与するとともに、より多くの方が俳句に親しみ、俳句の魅力、さらには松山の魅力を知ってもらうことを目的としている。 【背景】1966年(昭和41年)、「子規・漱石生誕百年祭」の記念事業として観光俳句を募集し、好評を得たことから、1968年(昭和43年)に第1号の俳句ポストを設置し、事業を開始した。				
対象・内容	【対象】観光客、市内外の方 【内容】俳句ポストに投句された俳句の回収や選句、入選者の発表や記念品の贈呈、入選句集の制作等を実施。 俳句ポストの維持管理。インターネットサイト「俳句ポスト365」の運営。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	俳句ポスト365と市内電車俳句ポストの運営管理委託料		6,085
予算 (千円)	事業費計	6,202	7,914	7,804			入選記念品や選句謝礼などの報償費	600	
	国費・県費	2,106							
	市債								
	その他								
	一般財源	4,096	7,914	7,804		俳句ポスターの広告料		163	
決算 (千円)	事業費計	5,404	7,477			主な 取組 内容 【R7】	・俳句ポストの回収、投句データの打込み、選句依頼、記念品と入選通知文の発送などを行った。 ・俳句投稿サイト「俳句ポスト365」の運営業務を委託し、俳都松山のPRを行った。		
	国費・県費	2,106							
	市債								
	その他								
	一般財源	3,298	7,477						
	(執行率)	87%	94%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.9		特記 事項			
	その他	0.8	0.8						
	合計	1.0	1.0	0.9					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	俳句ポストの設置数		目標	113	105	105	105	俳句ポストを設置している路面電車の入れ替えやフェリーの航路廃止に伴い、設置数は減少した。	
			実績	105	102				
	現状維持	箇所	達成率	92.9%	97.0%				
成果 指標	市内俳句ポストへの市内 在住者の投句者数		目標	—	1,000	1,050	1,100	上記のとおり、市内の俳句ポストの設置数が減少したことが考えられる。 (7次総計に沿って令和7年度から成果指標を見直し。)	
			実績	948	841				
	単年で増	人	達成率	—	84.1%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	俳句ポストの設置数及び市内在住者の投句者数は目標値に到達しなかったが、俳句ポスト全体の総投句数や総投句者数は増加傾向にあるため。また、サクラメント市や市内大学への新規設置も行ったため。							
課題	路面電車の旧型車両に設置している俳句ポスト設置数は、新型車両の入れ替えに伴い今後も減少が見込まれるため、引き続き新規設置できる場所を検討する。また、本市の俳句文化を継承していくため、市内の在住者の投句者数を増やす必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	俳句ポスト全体での総投句数や総投句者数は増加傾向にあるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当G	ことばのちから	連絡先	948-6524
------	-------------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	文学賞運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0522					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市文化芸術振興計画		
主な取組	「ことば」文化の発信				
目的・背景	【目的】「ことばと文学のまち松山」を全国に発信することで、本市の文化的イメージアップと市民文化の向上を目的としている。 【背景】近代俳句の祖・正岡子規を生み、近代小説の文豪・夏目漱石が小説「坊っちゃん」に描いたまちという豊かな文学的土壌をいかし、1989年(平成元年)の市制施行100周年を記念して創設。				
対象・内容	【対象】文学に興味のある市内の方 【内容】文学賞に関する事業の運営委託料を株式会社パシフィックボイスへ支出。 第22回は、令和7年5月1日～9月30日まで作品を募集し、9,900点の作品応募があった。 令和8年1月25日に審査結果発表・表彰式を行った。 ○審査員:田丸雅智、大原さやか、山戸結希 ○アンバサダー:白濱亜嵐 ○賞:大賞1名(賞金50万円)、佳作5名(賞金10万円)、小学生特別賞1名(図書カード1万円分)				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	文学賞運営業務委託料		15,785
予算 (千円)	事業費計	16,719	18,331	24,463			坊っちゃん文学賞賞金		1,000
	国費・県費						坊っちゃん文学賞よみ芝居公演開催負担金		450
	市債								
	その他								
	一般財源	16,719	18,331	24,463					
決算 (千円)	事業費計	16,630	18,583			主な取組 内容 【R7】	・パシフィックボイスへ文学賞の運営を委託し、作品募集、ワークショップ、審査、結果発表等を実施。 ・文学に興味をもってもらうとともに創造力や文章力を高めるため小学生特別賞を創設。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	16,630	18,583						
	(執行率)	99%	101%						
人役	正規職員	0.7	0.9	0.8		特記事項	表彰式後、過去の受賞者によるトークセッションの実施が決定し、出演者への報償費を流用したため。		
	その他								
	合計	0.7	0.9	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	書き方ワークショップ開催数		目標	5	13	13	13	オンラインと実地でのワークショップのほか、学校単位や親子で参加するワークショップを計画どおり開催することができたため。	
			実績	7	13				
	現状維持	回	達成率	140%	100%				
成果指標	作品の応募数		目標	8,100	8,400	8,500	9,000	学校でのワークショップ開催やSNSによる周知のほか、新たに小学生特別賞を創設したため。	
			実績	8,341	9,900				
	単年で増	点	達成率	103%	118%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	複数回のワークショップ開催やSNSを活用した周知などにより、目標値及び前年度(令和6年度)実績を上回る応募をいただき、「ことばと文学のまち松山」を全国に発信できたため。							
課題	例年多くの応募をいただき、坊っちゃん文学賞の認知度が高まっていると考えられるが、引き続きワークショップ開催など委託業者と連携して幅広い年代に「文学のまち松山」をPRしていく必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	ワークショップも計画どおり開催できており、また作品の応募数も増加傾向にあるため。